

# がん情報サロンボード

2015/01/25

がん情報サロン 富田 明人

## 平成 26 年度がん患者団体等意見交換会

平成 26 年度がん患者団体等意見交換会が 1 月 23 日 (金) 出雲市民会館 301 会議場 で開催された。県内 16 サロン、あけぼの会、日本オストミー協会 島根県支部の団体 35 名が参集した。

会議は健康推進課、保健所、アドバイザー 13 名のスタッフにより開催され、がん対策推進半場室長の開会挨拶、前半は 5 グループに分かれ本日のテーマ「病院長との意見交換会で良くなった (改善された) ことを挙げてみよう!」、「成功した理由を考えてみよう!」、「今、病院長に伝えたいこと」についてグループ討議を行った。

初めて参加した人もあり課題対応に苦労したが大まかな集約が出来た。後半グループの代表者が意見発表を行った。

隠岐サロンの代表者からは、ドクターヘリの活用等、医療環境が改善されたと言う良い報告もなされたが、患者に対するインフォームド・コンセントの改善と充実の意見もあった。

地域の格差も・・・大田市立病院では大田市から島根大学医学部への寄付講座による総合医育成センターの開設により大学と病院の医師が共同でかかわることにより医療環境が改善され、患者と医療者の連携が良い結果となっているとの報告もあった。

後半意見集約がなされ、3 月に病院長との意見交換会に提出する課題が選定された。次回の院長会議に提出する議題として

- ① 入院・通院時の経費の節減
- ② 患者の要望を訊く体制づくり
- ③ 患者・医療従事者等の院内でのサロンの存在の周知
- ④ インフォームド・コンセントの充実
- ⑤ 院長に感謝を伝えたい

の 5 項目に集約され事務局から発表した。

今回も会議に必要な資料が前日に届くなど準備不足であり、出席者もさまざま昨年までの経過を事務局からのレクチャーが必要であったのではなかろうか。

今回の会議の進め方はあらかじめ結論ありきで、そのシナリオ通りのイベントで終了した。これで良いのか島根のがん対策を推進するには更なるステップアップが望まれる会議であった。

(富田)